

夢へ踏み出す一歩

二〇二五年三月に卒業した先輩方を代表して是川彩先輩（Sコース卒業）、桐田悠生先輩（Tコース卒業）、前川孝太郎先輩（Tコース卒業）の三名に取材した。卒業式直前の取材では勉強や部活動に打ち込んだ思いを聞くことができた。

Q、進学先はどのような理由で決めましたか？
是川 「将来的に今自分が住んでいる地域を盛り上げたいと考えています。そのために地域の人々との交流やフィールドワークを通して地域を活性化させるための方法を学びたいと思ったからです。」
桐田 「これからの時代は英語が必要だと考えています。社会に貢献していくために、英語の力が伸ばせる環境の大学に進学したいと思いました。」
前川 「将来は保健体育の教師になりたいと思っています。人間の

身体的な健康や精神的な健康について大学で学びたいと考えました。」
Q、進路はいつ頃決めましたか？
是川 「高校二年生の冬頃です。」
桐田 「高校三年生の春頃です。」
前川 「僕は高校三年生の春頃でした。」

Q、将来の夢と、進学先での目標を教えてください。
是川 「大学ではボランティアやフィールドワークに積極的に取り組みたいです。それらの経験を活かして、将来は公務員として地域の活性化に貢献したいです。」
桐田 「将来は高校の英語教員になりたいです。そのために大学では英語をしっかり学ぶとともに、外国の文化についても理解を深めていきたいです。教員免許を取得するのがまずは第一目標ですが、TOEICなどの資格試験にも挑戦していきたいと考えています。」

前川 「教師として活躍するためには、まずは基礎的な学力と一般教養を身に付けたいです。その上で、自分の専門分野である身体についての文化的、科学的な知識を深く学んでいきたいです。」
Q、高校生活の思い出は何ですか？
是川 「ビジネスプランコンテストに取り組んだことです。他校の生徒と合同で、地元の特産品を使ったプランを考えました。放課後や休日にも皆でコンテストに向けた



是川 彩先輩
高崎経済大学地域政策学部



桐田 悠生先輩
鳥取大学地域学部

アイディアを考えたのが印象に残っています。」
桐田 「僕は野球部に所属していました。一年生の頃からハードな練習に取り組み、しんどいこともありましたが、部活動を三年間やり続けたことは自分にとって大きな自信になっています。」

前川 「僕は剣道部に所属していました。楽しいことも厳しいこともありましたが。時にはくじけそうになることもありましたが、共に乗り越えた仲間との絆が一番の思い出です。」
Q、高校生活で力を入れたことは？
是川 「日々の勉強です。毎朝授業が始まる前の時間や、放課後の時間を上手に使いながら学習を進めました。私はその日の授業を振り返って復習したり、習った範囲

のワークを解きながら理解を深めていきました。」
桐田 「僕は野球部の副主将としてチームを支えました。自分自身は公式戦には出場できませんでしたが、チームのために貢献しました。」
前川 「三年間、高校生として勉強や部活動に全力を注ぎました。そのうえで、日常生活でも礼儀や礼節を重んじました。例えば、校舎のトイレの中にあるスリッパを在校生が使いやすいように自主的に並べるようにしていました。」

部活動で培った経験



前川 孝太郎先輩
関西大学人間健康学部

は川 「剣道部には所属していません。楽しいことも厳しいこともありましたが。時にはくじけそうになることもありましたが、共に乗り越えた仲間との絆が一番の思い出です。」
Q、高校生活で力を入れたことは？
是川 「日々の勉強です。毎朝授業が始まる前の時間や、放課後の時間を上手に使いながら学習を進めました。私はその日の授業を振り返って復習したり、習った範囲

継続力が身に付きました。」
Q、やる気を出す方法は？
是川 「達成可能な小さな目標を立てることです。また、志望大学について調べたり、実際に大学生に話を聞いてモチベーションを維持しました。」
桐田 「仲間やライバルを見つけることです。一緒に勉強しながらも、負けないように自分を奮起させました。」
前川 「デンスションが上がる曲を休憩時間に聞きながらリラックスしていました。」
Q、中学生に向けてアドバイスはどうぞ！
是川 「毎日の積み重ねが大事なので、何事もコツコツとやるのが良いと思います。」
桐田 「二日一日を大切にしてください。入学後は全力で高校生活を楽しんでください。」
前川 「続けることが大事なので、今やっていることを継続できるように頑張ってください。」

東洋新聞

可能性を追求する日々

本校には生徒の進路実現に向けたコース制が導入されている。まず最初に国公立大学への進学を目指す「Sコース」について二年生の松岡春輝さん、稲葉あみさんに取材した。

国公立大学進学を目指すコース

Q、Sコースの魅力は？
松岡 「自分のペースで積極的に学習できることです。朝早くから放課後まで充実した学習環境が整えられています。」



目標は国公立大学進学

稲葉 「勉強の習慣が作れると思います。また、勉強できるスペースが学校内にたくさんあって、友人同士で教え合ったりできるところも魅力です。」
Q、東洋大姫路を選んで良かった事は？
松岡 「先生方の授業が分かりやすく、授業の後や放課後にも質問がしやすいところです。」
稲葉 「私も先生方に質問しやすいところだと思います。もっと知りたいことや興味のあることを気軽に聞きに行けます。また、今年は甲子園へ野球部の応援に学校全体で行きました。とても良い思い出になりました。」



夢を語る松岡さん

Q、得意科目と勉強する夢は？
松岡 「大阪大学に進学したいです。工学部で専門的な知識や技術を学び、バリアフリーの世の中に貢献したいです。」
稲葉 「私も国公立大学に進学したいです。法律に興味があるので法学部に進みたいです。将来の選択肢を広げるために多く

二〇二五年度 特別号
東洋大学附属姫路高等学校 新聞部
第一面：在校生に聞く高校生活
第二面：東洋大姫路の魅力
第三面：魅力的な設備の紹介
第四面：努力を積み重ねてきた卒業生の声



笑顔で語る稲葉さん

実際に心掛けていることは？
松岡 「数学です。復習を徹底しながら、演習問題を何度も解くことで、頭に定着するように心掛けています。」
稲葉 「英語です。単語を覚える時は声に出して覚えるようにしています。また、リスニング対策として、通学中に英語のアニメやニュースを聞いて楽しく勉強しています。」



バスケット部の柴田さん

Q、目標の進路と将来の夢は？
松岡 「大阪大学に進学したいです。工学部で専門的な知識や技術を学び、バリアフリーの世の中に貢献したいです。」
稲葉 「私も国公立大学に進学したいです。法律に興味があるので法学部に進みたいです。将来の選択肢を広げるために多く

多様な進路実現を叶えるコース

Q、中学生に向けて、アドバイスはどうぞ！
松岡 「高校生活に不安があるかもしれませんが、それ以上に楽しいことが待っています。頑張ってください。」
稲葉 「まずは健康第一です。勉強もコツコツ頑張しましょう。」



剣道部の中村さん

次に進学や就職等の多様な進路実現を目指す「Tコース」について二年生の柴田迅さん、中村綾蘭さんに取材した。
Q、勉強で工夫していることは？
柴田 「先生方に質問して、学

校にいたる間に疑問点を解決しています。」
中村 「予習と復習を頑張っています。私も分からない所は先生に聞くようにしています。」
Q、将来の夢と目標の進路は？
柴田 「国際線のCAになりたいです。そのために、国際交流が出来る大学に進学したいです。」
中村 「将来は警察官になりたいです。剣道部で得た精神力と持ち前の明るさで困っている人を助けたいです。」
Q、勉強とクラブ活動を両立するコツは？
柴田 「僕はバスケットボール部に所属しています。朝練もあり、勉強時間が限られているので、その分授業に集中するようにしています。後から復習しやすいようにノートをしっかり取っています。」
中村 「私は剣道部に所属して

仲間と歩む東洋ライフ

魅力的な設備の紹介

東洋大姫路自慢の学習環境

ホームルーム教室



本校には、他校にはない素晴らしい学習環境が整っている。中学生の皆さんにそれらを伝えるため調査を行った。

まずは、本校の校門を入ると最初に目に飛び込んでくる第一校舎だ。ホームルーム教室には一日中明るい日差しが差し込み、机や椅子もきれいで学習しやすい。各教室にはワイドプロジェクトが設置され、授業で積極的に活用している。

コミュニケーションスクエアという部屋には、ネイティブの先生三名が昼休みと放課後に常駐しており、気軽に英語で会話ができる空間となっている。

情報棟のPC教室には最新のパソコンがずらりと並ん

コミュニケーションスクエア



でおり、情報の授業等で利用する機会が多い。

また、本校は全校舎で冷暖房が完備されており、一年間を通じて学習に集中できる。二〇二〇年にはICTに対応した第三校舎も完成しており、学習環境が日々進化し続けている。

そして、本校には三つの体育館が存在している。一つ目が第一体育館だ。ここは体育の授業はもちろん、東洋祭や球技大会、そして入学式や卒業式等でも使用している。

また、クラブ活動の活動場所としても重宝され、たくさん運動部の生徒が日々練習に励んでいる。

第二体育館には一階に柔道場、剣道場がある。二階は

PC教室



卓球部の練習場所となっているが、体育の授業でもよく利用されている。

三つめの体育館は、50周年記念ホールと呼ばれており、通常は体育館なのだが、東洋祭や映画の鑑賞等のイベントがある際は、電動式の椅子を出し、体育館からホールへと様変わりするのだ。講演会の会場にもなる万能的な体育館で、とてもきれいだ。

学習用の机も完備



次に本校の誇る図書館を紹介する。図書館は、図書職員室棟の一階にあり、とてもきれいで広々としている。

私たちは、図書館利用者のために日々図書館で仕事をされている司書の方に話を聞いてみた。図書館には小説、文庫本、雑誌など約三万九千冊の本が置かれており、昼休みや放課後に多くの生徒が利用している。

図書館の開館時間は平日が十七時五十分まで、土曜日が十四時二十五分までだ。一年間あたりの入館者総数は約一万六千人であり、約六千冊の本が借りられている。また、先生方も授業の準備のために利用している。本の貸し出し期間は二週間である。普段は五冊まで借りる

中学生に読んでほしい本



ことができる。

なお、夏休みなどの特別貸し出し期間は休み明けまで、最大で十冊も借りることができる。また、図書館にはパソコンが四台設置されており、誰でも自由に検索できるようにになっている。

司書の方二名に話を聞くと「図書館では、本を読んだり、自習をしたり、皆、思い思いの時間を過ごしています。書をゆつくりと眺めるだけでも楽しいと思います。また、本校には『ひめひやく』という、先生方のおすすめ本を百冊紹介した冊子があります。図書館では、その紹介本を実際に手に取ってみることができ、貸し出すこともできま

おすすめ本コーナー



中学生の皆さんは学校を見学した際に立ち寄ることができるので、ぜひ足を運んで気になった本を手にとってもらいたいと思う。

図書館には多くの種類の本や雑誌、そして大学入試の過去問が用意されているが、もし自分の読みたい本がない場合はリクエストをすることができ。本が届くとすぐに知らせてくれるようになっています。とても便利です。

図書の方に中学生にオススメの本を聞くと、宮下奈都著『羊と鋼の森』、瀬尾まいこ著『私たちの世代は』の二冊を紹介してもらえた。

本校の誇る設備

50周年記念ホール



生徒と本をつなぐ場所

季節ごとのテーマ展示



東洋大姫路の魅力

東洋大姫路について徹底調査！！



私たち新聞部は、東洋大姫路の雰囲気を見学に来てくださった中学生に知ってもらうために今回、特別号を作成した。

第一面には在校生の声を掲載している。文武両道を掲げる本校には様々な生徒が在籍している。充実した高校生活の様子を知ってもらいたい。

第二面では今年行われた文化祭の様子と入学後に利用することになる食堂について伝えている。

第三面には本校ならではの充実した施設と図書館の様子を掲載している。ぜひ、紙面から雰囲気を感じてほしい。

最後の第四面では卒業生の声を掲載している。本校で三年間を過ごした先輩方がどのような感想を持っているのか読んでもらいたい。中学生の皆さん！来年、本校でともに学びましょう。

盛り上がる東洋祭



吹奏楽部の演奏

本校の文化祭は「東洋祭」という名称で毎年六月に実施している。昨年から合唱コンクールも行われ、前夜祭と合わせて例年以上に熱気を帯びた行事となった。

東洋祭当日は、各クラスに会議室よりリモート配信されたオープニングセレモニーから始まった。生徒会が作成した動画も配信上映され、盛り上がりを見せた。その後、校内の各会場でクラスやクラブ等の出し物が発表され、賑わいを見せた。ダンス等の大がかりな発表も、入念な準備のもと行われた。

様々な出し物と並行して文化部による展示も行われ、日頃の活動成果を多くの人の目に届けた。



大盛況の模擬店

来年の東洋祭にはこの東洋新聞の読者が参加し、一緒に楽しめることを在校生一同期待している。

食べ物の模擬店では三年生の各クラスとクラブ有志が、ベビーカステラ、タピオカミルクティー、ホットドッグ、ハンバーガー、油そば、ワッフル、餃子、フランクフルト、たこ焼き、ジュース、焼きうどん、焼きポンドリング、シニアアイス、米粉うどん等を販売した。

食欲を満たす空間

きつねうどん



本校には、清潔感のある明るくきれいな食堂がある。中学生の皆さんに本校の食堂の魅力を伝えるために取材を行った。

食堂のメニューは豊富で値段も手頃だ。昼休みになると、多くの生徒で賑わう。また、食堂の横には売店が併設されており、ポテト、フライドチキン、唐揚げやおにぎり、パン等を購入する生徒も多い。

食堂には定食や丼ぶり物、麺類など多くのメニューがある。食堂の方に人気のメニューを聞くと、タレカツ丼、カツカレー、天かすラーメンという答えが返ってきた。

新聞部のオススメは日替わり定食だ。ボリュームの



きれいなカウンター



人気のタレカツ丼

あるおらずに、ご飯、みそ汁、サラダ等が付いていてバランスも良い。

また、小腹が空いた時に助かるのが、きつねうどんだ。値段は三百三十円と安価でありながら、ふっくらとしたジューシーなおあげが食欲を満たしてくれる、生徒にとってありがたい一品である。

本校の食堂の営業時間は、三時間目の後の十分間の休み時間と昼休み、放課後となっている。ちなみに放課後は十六時まで営業している。

また、食堂では自分の教室まで持ち帰ることのできるパック弁当の販売も行っている。このパック弁当も人気商品だ。値段は四百五

十円でボリューム満点だ。種類は日替わりになっているので、とり照り弁当、唐揚げ弁当、とり天弁当、スタミナ弁当、タレカツ弁当、味噌カツ弁当等たくさん種類がある。

食堂の方にとって、利用した生徒から、「とてもおいしかったです。」と言ってもらえることが食堂の仕事をしていて良かったと思う瞬間のようだ。そして生徒たちに安心して食べてもらえるように、普段から衛生面にも十分気をつけて真心を込めて調理している。

最後に食堂の方から皆さんに「高校生活は三年間あるので、ぜひ一度は食堂を利用してみてください。」と明るい声でメッセージがあった。魅力的な施設で、たくさん在校生が利用している場所なので、本校に入学したら一度足を運んでみてほしい。